

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名:放課後デイサービスいんくるーじょん東淀川事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	その場から離れている利用者には声かけて対応している	もう少し現場において個々のスペースをつくる必要がある。
	2	職員の配置数は適切である	4	2		日によって変わるので、職員が全員出勤していることが最近では稀である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		バリアフリー構造にはなっていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		主に朝礼で確認して共有している。完全にできているとは言い難い。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				ハッキリとしていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		誰が受けに行った研修でも、他の職員にしっかりと共有して共通認識としている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		日常生活における課題を主に計画書に盛り込んでいる。アセスメントは見直しが必要。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		できていない部分が多い。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		土曜日や長期休暇のプログラムは職員がそれぞれ案を出して決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		以前行っている物を参考にする。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		平日のSSTにしっかりと課題を設定しきれていないところがある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		純然たる個別の活動の時間が少ない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	タイムツリーを活用してスケジュール管理をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		朝礼で共有。担当も曜日ごとに変えている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			記録に残し報告をする。それによって改善につなげることができる。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			計画書作成の期間に同時にモニタリングを作成している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2		しっかりとできているとは言い難い。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	参加できる機会が少ない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		おおよそできている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			ケア自体を行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5	求められた際に提供することは可能である。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	外部機関との連携は希薄なので、その結びつき自体は課題である。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	機会が持っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	参加できる時には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳や送迎時に話すことで情報を交換して共通の理解を得ようとしている。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	現状では行えていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時に伝えるのみにとどまっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		おおよそできている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			現在は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している			おおよそはできている。何か起きる度に情報を交換して共有、次起こりそうなことに対して備える。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	5	
	35	個人情報に十分注意している	6		細心の注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	3		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		再度確認する必要がある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			